

平成 22 年 2 月 1 日発行
第 147 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel: (0548)32-0701 緊急用:090-1758-1712 Fax: (0548)32-1280

「榛原医師会便り『心のひろば』の存在価値を問うてみて 2010.1.25.」

“質”を考え、毅然とした言動、後退せぬ責任 その - 加藤寿夫

以下は 2010.2.榛原医師会報「心のひろば(第 376 号)」に投稿した原文です 2010.4.1. 改変済み

私は本日(2010.1.25.)、榛原医師会役員会で、下記の内容につき、想い余る感情を敢えてコントロール無しに、抑えることを一時忘れた状態に自分を追い込み「物申すぞ!」と心して臨んだ。だがフと我に振り返り思い留まった。その後、繰り返し冷静に自己の思考を交錯させた上で、私にとって一つの大きな提言として、自問する意味も込めて投稿する。



「小田原会長の新年 1 月号の心のひろば『新年を迎えて』の文、この内容について」

行政に対して、ある意味で戦闘状態とならなくては住民を守れない時の姿勢、行政から一方的な政策を受け付けるだけの状況で、我々医師団の住民サイドに立った交渉事が通じない閉塞状態からの突破口の拓き方、特にここ半年余り小田原先生の言動の中に学ぶことを多く感じ取りました。「『新年を迎えて』の内容は、今年一年今年(2009 年)度末期・来期 2010 年度に向けて、旧榛原郡そして榛南 吉田町にとって“大きな布石”であること」これは私を含め医師会員一同感じていることであると思われまふ。また、医師会の人間としては、これが行政の医療・福祉に大きく関わる担当の方々から榛南の市・町のトップにまで十分潤沢に伝わることを願います。

私の立場、吉田町の担当理事の自己の立場としても、最後に、楽しく前向きに仕事をさせて頂けること、感謝の気持ちで一杯です。

「『新型インフルエンザのワクチンの供給』に関して投稿された内容に対して」

心のひろば 昨年 12 月号の中で、小児科専門の先生から「新型インフルエンザのワクチンの供給」に関して投稿された内容に対して、包み隠す事無く感じた内容を申し上げます。大変、苦勞されたのは理解出来る、気持は判るのですが、【失礼極まり無い言い方と成りますが「行政に対して突っ張ってみたいけれど、現場の患者さんの為には、折れるしかない、最後には折れました」としか私には内容が伝わらない。】この点は、行政を説き伏せてでも、改善をお願いする、でなければ納得出来ない」そんな切実な提言が無い。まして、【ブタのインフルエンザによる予行練習と罵られる今だからまだ大問題とはならないが、トリのインフルエンザが蔓延し、感染者の数人に一人は死に至る状況下が想定される今後の状況下において「『今 即刻、解決すべき問題点』をきちっと前向きに議論し片付けていきましょう」という「『建設的な提言』これが必要だ」と思うのですが、如何でしょうか? 旧御前崎町・旧大井川町の地区が、ワクチン供給開始当初 ワクチン無供給エリアとなり、現場が唖然とした状況等も含め「『間違いが生じないように改善していたが為の“策”を願う提言』、そんな役割が「心のひろば」の存在価値の大きな部分』と考えてよいのではないのでしょうか!

「『タイムリー』ということ」

時の流れが大変に速い今の世の中、編集委員会がタイミングを逃した事により、後になり内容の評価にマイナス点を付けられる状況を生じた場合、これは編集の責任です。落胆させないように願いたいものです。

【個人的な感情で敢えて申し上げます。委員長たる立場の人間が、第三者の事務方に命じて「投稿規定を付けて却下と伝える…」というような 心の伴わない・寂しい私とこの第三者の事務方を裂くような、これを許す委員会の対応は、言語道断です。改めて下さい。】

ここ数年間、考えていることですが「編集委員会に対して」申し上げたいのですが

まず、何の為の「心のひろば」なのか、見直す時、考え直す時が来ていると感じます。何の為にこの「心のひろば」があるのか、この存在価値を考え直す時、ある意味創設時の初心に戻って、考え直す時が来ているように思います。

医師会の重鎮となられた方々をはじめ、会長職を長期に務められた前会長赤堀俊兵先生の「阿吽の狭間」シリーズを筆頭に、推敲された文章は、私には難し過ぎまして 難解で理解出来ない事も多々存在するのは事実ではありますが、「『意図する姿勢“魂”』これがここに込められている。」「『心のひろば』が我々の宝でありうる理由は、多くの医師会員が、時間を掛け推敲を重ねて、文章に臨んでいるからなせる業」です。

私自身も 常々、その時々自分の精一杯、たっぷり許される限りの時間を掛け、推敲に推敲を自分の今の容量で重ね、文章に臨んでいる現実があります。多くの方に「私の推敲は、時間ばかり掛けて、まだまだ甘い」と評価して戴き、多くの人に弄られメタメタとなり、多くの方に「これが貴方に対する愛情でしょ!」と私から見たら一方的に強要され(私はこれを「喜んで・笑いながら・楽しく 受け入れてしまえ!」と思っている自分も 時と場合によっては存在するのですが...)、私という人格抜きに 本人である私の了解も無く、私の知らぬ処で勝手に訂正された私の文章が、私の名の下にオープンにされ、独り歩きしています。私自身 多くの方に批判・反論をいただくことは、大歓迎であります。ただし「間に人を介すること、これは御勘弁」願いたい。宜しくお願いします。

投稿規定というもの、私にはどのような経緯で出来たのか理解出来ません。しかし、今の速い時流の世の中に対応すべく、改正・訂正すべき点も多く見受けられるように考えます。人間、本気と成り物申す事は、時と場合により一回では無く、何度も機会を得て、自分から機会を獲得しながら、自信があればその分だけ積極的に、過去と同じことであっても、周囲の意見を取り入れながら マイナー チェンジを繰り返し、説得力を得ながら、こんな事の繰り返しを冷静に行い見届けながら自分を更に正していく、純な人間であればこの当然の行為を遂行しようとする。少なくとも私は、こんな感性の中で素直に生きていきたい…。この部分は、私の柱 骨格であり、捨てられない事柄です。

【4 月からの榛原医師会新会長候補 高木平先生には、別にも問題を提示しておきます。】「心のひろば」に投稿した者への「『心』配り」の配慮」を願いたいと思います。 [“事”の詳細は 康寿診報 149 号に続けて掲載します]

【 _____ 】の部分そのまま掲載された原稿【校正】が、2/1 編集委員会で掲載の承認を得て、2/2 事務長から掲載決定の報告を受けました。その後、即刻提出した【 _____ 】の部分削除したものが原稿【校正】です。【校正】を【校正】に変更したことにより、2月号「心のひろば」には掲載されませんでした。

“事”の詳細は 2/9 編集委員長 大川雅龍氏から私に宛てた文面、この前後の私の文面 特に 2/10 編集責任者 高木平氏に宛てた文面を参照して下さい。

今年の花粉は、例年の半分以下といわれますが、私の鼻は1月中旬の天気の良い日から痒くなります。皆さん、予防から上手に対処しましょう。

花粉症「どういったことが一番辛いですか？」

鼻づまり？ くしゃみ？ 目のかゆみ？ 涙？ のどの渴き？ 不眠？ …？ …？

今回は、西洋医学・東洋医学 漢方の治療につき本院での実際を別々に述べ、両者併用・折衷治療している現場を、治療される貴方と一緒に知って・使って、考えていただきたく思います。

花粉症に対する西洋医学による治療

(いつから薬物治療を開始するか 終了するか)

薬の飲み始めは、飛散開始予測日の一週間前という考えが一般的です。また、薬を終わる時期は、スギ花粉症だけなら桜の咲く時期ぐらいまで、ヒノキ花粉症もあるとしたら連休のちょっとあとまでをめどとしてください。

眠気の問題は、ある程度飲み続けていけば慣れていくこともあります。

《内服で用いる抗アレルギー剤》

「振り分け型・バランス型」

タリオン OD 2錠/2×1 または ジルテック 1錠/1×1

他に ケトテン 2カプセル/2×1

「鼻閉型にも効果の強いもの」

アレロック 2錠/2×1

「眠気の弱いもの・無いもの」

エバステル OD 1錠/1×1

アレグラ (30)(60) 2錠/2×1

オノン (112,5) 4カプセル/2×1 または シングレア 1錠/1×1

は後発品(通称:ソロ)と呼ばれるものです。

先発品の特許期限が切れて、薬価が30~80%程度に抑えられて販売されている薬剤です。

《鼻症状に対して局所的に》

ナゾネックス鼻注 1回/1×1(左右点鼻)またはエリザス 1カプセル外用鼻注/1×1

他にフルナーゼ鼻注 2回/2×1(左右を1日2回)、ペンブリン AQネザル 鼻注 4回/4×1

鼻閉症状がひどい時 トーク点鼻 随時屯用

《眼症状に対して局所的に》

パタノール点眼 4回/4×1 または クモロール点眼 4回/4×1

眼症状がひどい時 オドメール点眼 随時屯用

(本院での具体的な処方の方針)

自分にぴったりのお薬がわかっている方は、今年もそのお薬からはじめることをお勧めします。

花粉症の第一選択薬とされる内服で用いる抗アレルギー剤、これが合うか合わないかのポイント、我々が処方するにあたっての注意点は、鼻閉が強いのか、副作用としての眠気が起こるか、この2点です。一般的な患者さんには、まずは、第一選択「振り分け方・バランス型」としての薬を使用し、その後鼻閉が続けば「鼻閉型にも効果の強いもの」、眠気が起こる場合には「眠気の弱いもの・無いもの」に変更して用います。内服の抗アレルギー剤で十分に効果が無い場合には、局所療法として、鼻症状に対して点鼻ステロイド剤をさらには点鼻血管収縮剤を屯用で用います。眼症状に対しては、点眼の抗アレルギー剤、さらには点眼のステロイド剤を屯用で用います。

内服で用いるステロイドを含んだ処方の代表的なものに「セレスタミン(商品名)」があり、自覚症状の改善に即効性もあり重宝されますが、重大な副作用があり、短期間・少量の使用にとどめるべきで、第一選択として使用するのは禁忌です。

花粉症に対する東洋医学 漢方による治療

花粉症の病態は、漢方では、発散性・下降性の流れを正常とする気が逆流した「気逆」による「くしゃみ」と、水の過剰により「鼻粘膜が漿液性の浸潤により蒼白・浮腫状に腫脹」する「水毒」によるとされます。これに下痢傾向などを伴う「寒」の状態、逆に粘膜の充血・発赤などの「熱」の状態など、さまざまな程度の「寒熱」の状況を示します。漢方は「ものさし」を重んじ、かなり極め細やかな医療です。

花粉症の漢方治療では「利水剤」「利気剤」が治療の中心となりますが、まずは「虚実」の判断から
 [康寿診報 49 号 p1 参照] 薬物の最初の判断をすることが大切です。

《一般的な花粉症(くしゃみ・鼻水・鼻づまり)の症状 全般に対して》

「中間～実証」 しょうせいりゅうとう 小青竜湯 [TJ-19]
 「虚証」 まおうぶしさいしんとう 麻黄附子細辛湯 [TJ-127]
りょうかんきょうみしんげにんとう 苓甘姜味辛夏仁湯 [TJ-119]

《特徴のある花粉症の症状に対して》

鼻閉の強い方に対して かっこんとうかせんきゅうしんい 葛根湯加川芎辛夷 [TJ-2]
しんいせいはいとう 辛夷清肺湯 [TJ-104]
 結膜炎に対して えっぴかじゅつとう 越婢加朮湯 [TJ-28]
 肩凝りの付加症状に対して かっこんとう 葛根湯 [TJ-1]
 咳・くしゃみに対して ばくもんどうとう 麦門冬湯 [TJ-29]



しょうせいりゅうとう 小青竜湯 [TJ-19]

花粉症に対する代表的な漢方。ただし、中間～実証である程度の体力を伴っている方で、胃腸が虚弱でない人に用いる。

まおうぶしさいしんとう 麻黄附子細辛湯 [TJ-127]

感冒で体力が低下し体が冷える状態、虚証で低血圧の方に適応となる漢方。インフルエンザや流感後 症状の改善が十分でないときに使用する。ただし、胃腸が虚弱でないこと。

りょうかんきょうみしんげにんとう 苓甘姜味辛夏仁湯 [TJ-119]

虚証で顔色不良、冷え症、胃腸虚弱に適応。水様性の鼻汁に効果的。

かっこんとうかせんきゅうしんい 葛根湯加川芎辛夷 [TJ-2]

鼻閉がひどいものに用いる。ただし、中間～実証である程度の体力の伴っている方で、胃腸が虚弱でない人に適応となる。

しんいせいはいとう 辛夷清肺湯 [TJ-104]

葛根湯加川芎辛夷 [TJ-2] より実証で体力の伴っている方に用い、患部に熱感・疼痛を伴う場合、特に鼻茸を伴うものに適応となる。

えっぴかじゅつとう 越婢加朮湯 [TJ-28]

小青竜湯 [TJ-19] より実証で体力が中等度以上、口渇・暑がり・多汗を伴う人に適応、特に結膜炎の合併に効果的。

かっこんとう 葛根湯 [TJ-1]

項背部のこわばりがあり、頭痛・感冒徴候のあるとき、中間～実証である程度の体力の伴っている方で、胃腸が虚弱でない人に用いる。

ばくもんどうとう 麦門冬湯 [TJ-29]

発作性の咳嗽・顔面紅潮に使用する。花粉症ではくしゃみに効果がある。

※2.3 は 康寿診報第 127 号より改変して編集しました。

《勉強会のご案内》

2/13 は、新薬についても
お話しします。

通常の勉強会は原則第 3 土曜日 13:00 から開催です。インフルエンザ流行の状況により、勉強会は中止とすることがあります。ビデオ・DVD 学習をお勧めします。

2月13日(土)	薬物療法について
3月13日(土)	低血糖について
4月17日(土)	第80回 陸会
5月15日(土)	運動療法について
6月12日(土)	インサ療法について
7月10日(土)	糖尿病とは

ビデオ・DVD 学習は、個人の希望にも随時応じております。希望される方は、職員まで申し付け下さい。次回「第 80 回陸会」は、“糖尿病治療の ABC を求めて”をテーマに、本院の糖尿病治療の実際そしてメタが健診を成熟させる為には何が必要か、皆さんと考えてみたいと思います。吉田町図書館にて開催予定です。杉山晴子管理栄養士による「加藤さん家の食卓実習」調理実習を 2/13(土)・3/13(土) 9:30~12:00 実施します。食材費 500 円のみで プロのテクニックを自分の食卓へ応用して下さい。詳しくは栄養士杉山へ。

2 月となりました。例年冬のインフルエンザ ワクチン・[弱毒性(豚)]新型インフルエンザ ワクチンの接種を済ましていない方、早急な接種をお勧めします。

小児から高校生までの接種は無論、一般の方につきましても、本院に電話連絡の上 来院いただければ、可能な限り 当日の内に接種させていただきます。

《毎年の冬のインフルエンザワクチン 予防接種のお知らせ》

例年冬のインフルエンザ ワクチンの予防接種実施中です。

小学生まで(12 歳以下)の子供さんは 原則 2 回接種です。

通院中・紹介の(加付のある)方は ¥2,500、二回目は ¥2,000 です。

65 歳以上の方は、町・市の補助があり、助成の対象となりましたが、本年度の助成の受付は終了しております。



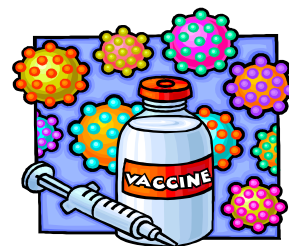
《弱毒性(豚)新型インフルエンザワクチン 予防接種のお知らせ》

政府の決めた接種順番により、予約にて接種実施中です。

小学生まで(12 歳以下)の子供さんは 原則 2 回接種です。

65 歳以上の方においても、榛南地区の地方自治、吉田町においても補助はありません。全額自己負担です。

すべての医療機関が同一料金 一回目 ¥3,600、二回目 ¥2,550 です。



《肺炎球菌ワクチン予防接種のお知らせ》

吉田町では独自の助成があり 70 歳以上の方は 全国唯一 接種代金

¥8,282 の全額町の負担。12/28 まで、個人負担無し(無料)で行なわれておりましたが、本年度の助成の受付は終了しております。他の市・町の一般の方は ¥8,000 にて実施中です。

《「チャオ」御岳スノーリゾート ツアーのご案内》

御岳山の麓で、雪の中に立ちこもり、戯れ・語り合いませんか!!
下記の日程にて、ツアーを企画しました。ぜひ参加してください。



第 回	3/7(日)	8(月)
第 回	3/21(日)	22(月) 23(火)

: 日和田ロッジ泊 ¥4,000
リフト券 1 日券 ¥3,000 [大人] 車代: ¥3,000
夕食・朝食の食事代込みの料金、飲み放題です。
小学生以下の子供さんの宿泊は半額、リフト券は無料です。
詳細については職員までお問い合わせください、リゾート 宿泊・日程につきお話しします。

《臨時休診のお知らせ》

臨時休診は数ヶ月前にお知らせします。確認の上で 受診をお願いします。

お薬を切らさないようにお気をつけ下さい。

2/15(月), 3/8(月)・23(火), 4/5(月)・30(金), 5/1(土)・8(土)は 休診です。

6/6(日)は当番医にて 9:00~17:00 急患のみ受け付けます。